

認知したいじめを速やかに解消した事例1（小学校第6学年男子）

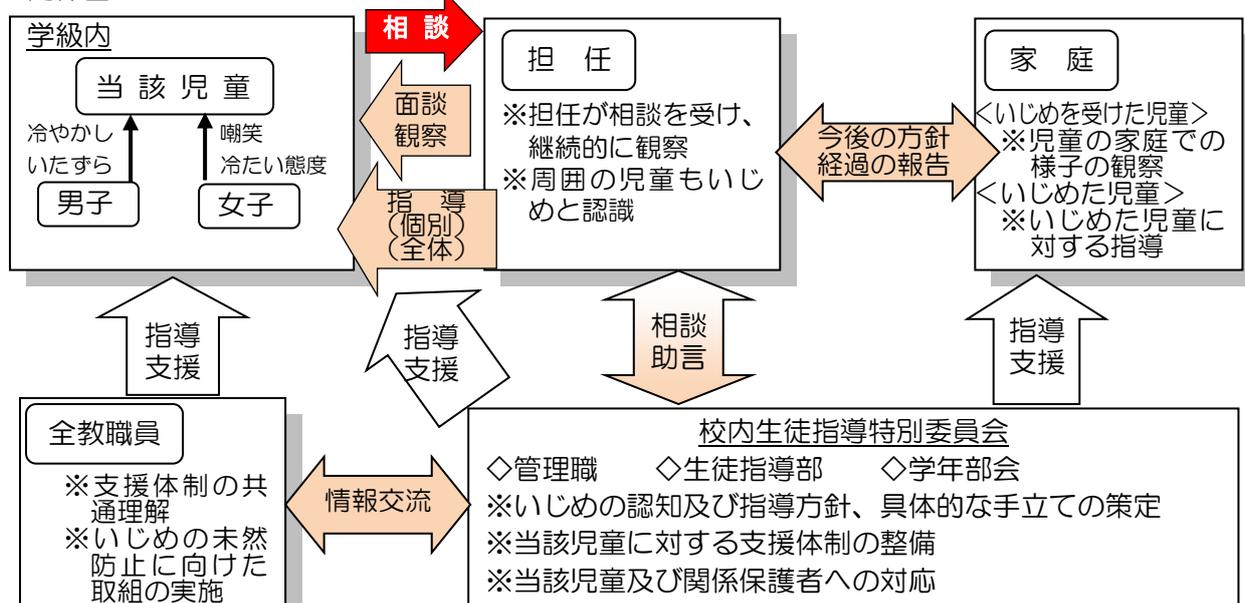
～全教職員による組織的な対応～

問題の把握

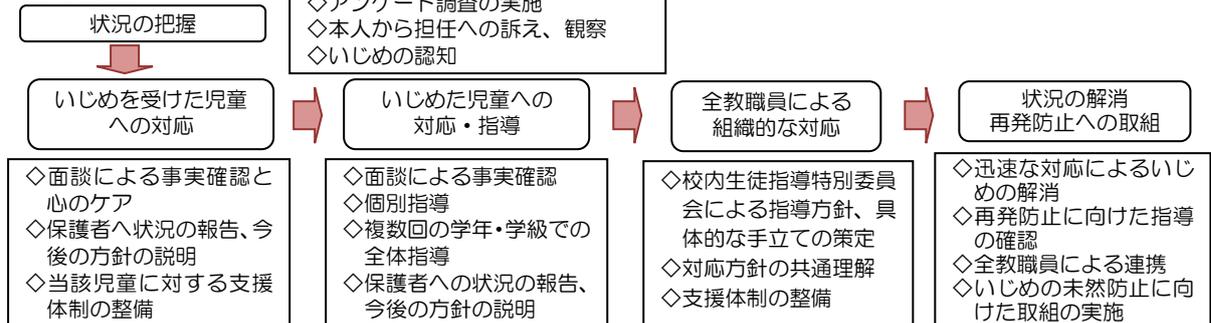
当該児童から数名の男子に、執拗にいたづらをされたり、冷やかしを受けたりしていることについて担任に相談があり、観察を続けていたところ、数名の女子からも嘲笑や冷たい態度をとられるなどの行為を受けていることが判明したため、いじめであるとの事実を確認した。

対応状況

○ 関係図



○ 対応の経過



いじめの問題を速やかに解消するためのポイント

- ・いじめのアンケート調査を定期的実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取る。
- ・学級担任が一人に対応することなく、校内生徒指導特別委員会を中心に、いじめの認知及び指導方針、具体的な手立てについて策定する。
- ・全教職員でいじめを受けた児童に対する支援体制を整備する。
- ・双方の保護者と速やかに連絡を取り、今後の方針等について説明を行う。